

第84期

上半期報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

証券コード：6655

TOYO ELECTRIC CORPORATION

CONTENTS

1 トップインタビュー
いまが我慢のしどころ。しっかり種まきをしながら
“復活と再生”を目指します。

- | | | | |
|---|----------|----|------------|
| 4 | トピックス | 9 | TOYOのものづくり |
| 5 | セグメント別概況 | 10 | 会社概要／株式状況 |
| 7 | 連結決算概要 | | |



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

いまが我慢のしどころ。 しっかり種まきをしながら “復活と再生” を目指します。

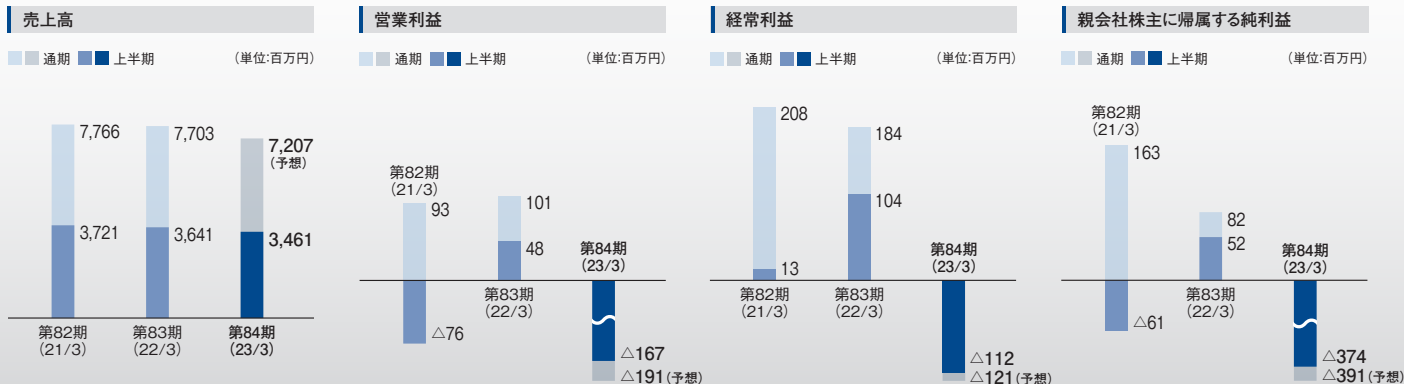
株主の皆様には日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

当上半期(2022年4月1日から9月30日まで)を終了しましたので、
ここに謹んでご報告をさせていただきます。

代表取締役 社長執行役員 **松尾 昇光**



連結決算ハイライト



Q1

**コロナ禍に加えて、ロシアのウクライナ
侵攻や円安が進行しています。
経営にとっては大きな逆風ですが……。**

これまで味わったことのない苦境が続いています。コロナ禍によるサプライチェーンの混乱に加えて、ウクライナ侵攻や円安の進行で、原燃料・原材料価格の高騰が追い打ちをかけています。この半年で資材は平均2～3割の上昇といったところでしょうか。受注時に比べると原価が大きく上昇し、受注金額の再交渉をお願いしていますが、すべてに応じてもらえるわけではなく、利益は悪化しています。

今、一番悩ましいのは半導体部品の調達と思うようにいかないことです。受注は例年並みかそれ以上に膨らんでいるのですが、半導体部品が届かず、納期が半年から1年近く遅れる製品も出ています。急激な円安も一部材料の高騰につながっています。経費の削減にも努めていますが、“焼け石に水”、かつてない厳しい上半期の業績となっています。

Q2

**モノづくりを担う事業部門でも
“綱渡り”の状況が続いているのでしょうか。**

国内制御装置関連事業では、エンジニアリング部門が急減速しています。巣ごもり需要を取り込んできた

物流会社向け搬送制御システムに大手が参入し、赤字覚悟でない仕事が取れない状況です。今期からは中堅の工場ラインに向けた自動化・省力化の制御装置をロボットメーカーと組んで進めています。

機器部門と変圧器部門は、前年同期比で2割程度の伸びを示しています。機器部門では、改良を加えた空間光伝送装置が半導体や液晶工場に納入されています。設備投資意欲が旺盛なこれらの業態では電力調整器の需要も堅調です。変圧器部門では、データセンターや太陽光パネルの工場設置において需要が順調に伸びています。

ただ、どの事業部門も原材料の価格高騰により、利益幅の減少を余儀なくされています。

関係会社による樹脂関連事業は、樹脂原料の価格高騰に加え、半導体の供給不足による自動車の生産台数の落ち込みにも影響を受けました。

Q3

**中国とタイにおける海外事業では
復調のきざしが見えているのでしょうか。**

南京華洋電気有限公司は、中国国内のゼロコロナ政策により、物流や通関などさまざまな制約を受けています。部品の現地調達も試みっていますが、品質確保に必要な検品作業が足かせになったりもしています。部品や完成品の輸送についても一部を船便から航空便に

切り替えましたが、原価率を押し上げる要因になっています。

タイーヨーエレクトリック株式会社は、コロナ禍による制限が緩和されつつあるものの、日本との物流に課題が残されています。なお為替レートは、前年同期に比べると中国人民幣元に対し3.05円安、タイバーツに対し0.37円安で推移しました。



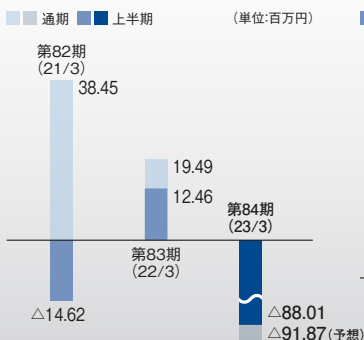
Q4

**業績回復には将来を見据えた挑戦も必要です。
ホームページやYouTubeなどを活用した
情報発信の成果はいかがですか。**

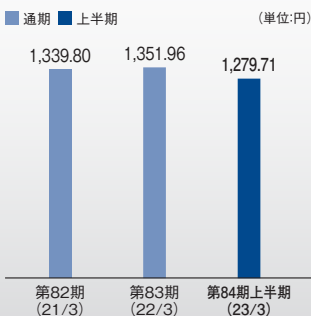
ウィズコロナに対応して、ホームページの製品紹介やリアルな展示会への出展にも力を入れています。当社の製品は、お客様の製品に組み込まれたり、隔離された場所で設置されるものも多く、“見る側”の立場で分かりやすく紹介するようにしています。

最近【よくある質問】のページも充実させています。【よくある質問】のページからはYouTubeの動画に飛ぶものもあります。

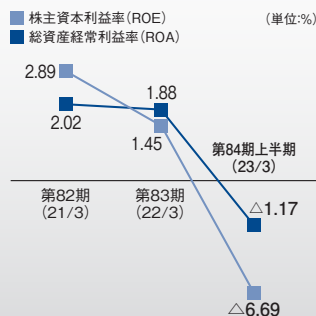
1株当たり純利益



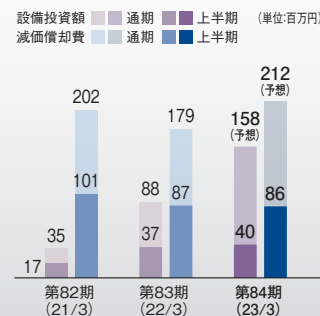
1株当たり純資産額 (BPS)



株主資本利益率 (ROE)/総資産経常利益率 (ROA)



設備投資額/減価償却費





これらの成功例として、大手自動車メーカーによる「アモルフラス変圧器」の採用がありました。長期間稼働を続ける変圧器は、待機時も電力を消費します。待機電力を大幅に削減できれば、CO₂の削減に寄与します。目下、大手企業ではSDGsやESGの課題に取り組むため脱炭素の動きを加速しています。

当社は、アモルフラス変圧器と従来タイプの変圧器を同じ条件で設置し、電力消費にどれだけの差が生まれるかの実証実験をスタートします。裏付けがある数値でお客様への説得に努め、販売拡大につなげます。

Q5

SDGs推進室を設け、7つの目標に取り組んでいます。その後の進捗はいかがですか。

SDGsは、テレビのニュース番組やバラエティー番組でも取り上げられるほど身近なテーマになっています。私も機会あるごとに従業員に呼び掛けていますが、一人ひとりが自分事として捉えるにはもう少し時間が掛かりそうです。

実は最近、社員食堂の改修を行いました。弁当形式をやめて、食堂での調理により温かい食事が取れるようにしました。業績が厳しいときに何だと株主様からお叱りを受けるかもしれませんが、気持ちよく働いてもらうために必要だと判断しました。SDGsの8番目に「働きがいも経済成長も」という目標があります。仕事で頑張ってもらうには“人と人のつながり”、チームワークが欠かせません。

当社は部門によっては残業が多く、ワークライフバランスは道半ばです。残業をしなくても一定以上の業績、そして賃金が出せるよう、仕事の価値を高められるように工夫をしてほしいと従業員の皆さんに呼び掛けています。

Q6

経済が低迷するわが国では、多くの企業でDX(デジタルトランスフォーメーション)による業務の変革が話題になっています。東洋電機にはどのような変革が必要とお考えでしょうか。

当社は1947年の設立から75年目を迎えています。人間でいえば二世代以上ですから、古い“殻を破る”

必要に迫られています。

この数年、コロナ禍でかつて経験したことのない苦境に立たされていますが、東洋電機グループが変わる絶好のチャンスでもあります。

話題のDX(デジタルトランスフォーメーション)は、デジタル技術を使って企業の変革を行うというのですが、当社内にはデジタル技術に一言を持つ人材やデジタル技術を業務に活用している部門もあります。ただ、それとDXは別物です。全社でDXを定義し、どのような業務に、どのようにデジタル技術を活用すれば、企業としての変革が可能となるのかを探るところからスタートしなければなりません。

当社では、総務や人事などの定型業務を自動化・省力化するRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)にもチャレンジしています。将来的には個別の勤務評価も、より公正な評価ができるようにAIなども活用することになります。これらを参考に各事業部門でも仕事の流れや仕組みづくりで新しい挑戦を続けてほしいと願っています。

今、当社の事業部門では、産業・FA、社会インフラ、エネルギーなどの分野で、お客様が抱えるさまざまな課題と向き合い、課題解決に導くソリューションビジネスに力を入れています。

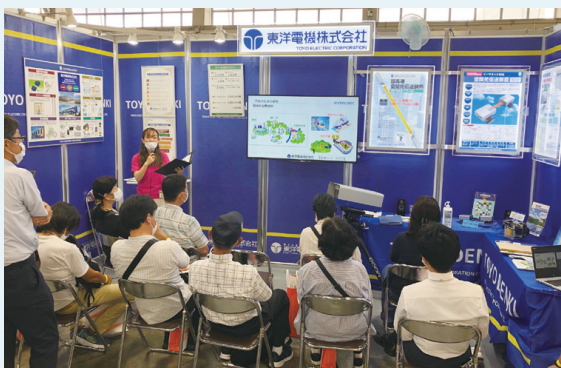
企業の成長は、従業員の成長なくして実現しません。最近の新しい動きに従業員の学び直し(リスキリング)があります。これから伸ばせる事業分野にどのような知識や技能が必要か。そのためのリスキリングにも意欲を向けてほしいと思います。

SDGsの4番目に「質の高い教育をみんなに」という目標があります。意欲ある人材が活躍できるようにもっと応援したいと考えています。仕事は楽しいものでなければなりません。意欲を持って立ち向かえば、必ず応えてくれます。

東洋電機グループはどのように変わるべきか。そのために短期・中期・長期でどのような対応ができるのか、今こそ真剣な議論が必要です。

引き続き、株主の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

T O P I C S

TOPICS
1株式会社名古屋証券取引所主催
名証IRエキスポ2022に出展しました

当社は、9月9～10日までの2日間、株式会社名古屋証券取引所主催の個人投資家向けIRイベントに出展しました。本イベントは、コロナの影響により3年ぶりの開催で、東海地区の上場企業・証券会社を中心とした104社がブース展示や各種説明会を実施しました。

当社のブースには、2日間で約400名の投資家の皆様にご来場いただき、当社の事業内容や株主還元、新たな取り組みなどについてご理解を深めていただきました。

お立ち寄りくださった投資家の皆様、貴重なお時間をいただきありがとうございます。

今後も当社の取り組みや最新の状況を知っていただけるよう取り組んで参ります。

■ イベント概要

名 称	名証IRエキスポ2022
主 催	株式会社名古屋証券取引所
開 催 日	2022年9月9日(金)～2022年9月10日(土)
出 展 企 業 等	上場企業・証券会社等104社
入 場 料	無料

TOPICS
2

国際物流総合展に出展しました

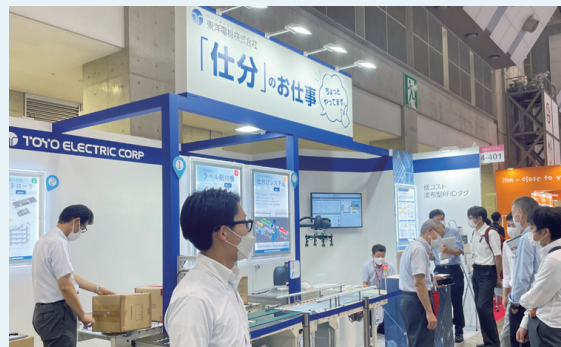
エンジニアリング事業部は、9月13～16日までの4日間、東京ビッグサイトで開催された国際物流総合展に出展しました。

本展示会は、最新の物流システム機器や情報システム、サービス等ハードとソフトが集結し、国内外のロジスティクス関係者が一堂に会する物流関連のアジア最大級の展示会です。

当社ブースでは、物流の仕分けシステムを展示し、エンジニアリング事業部の強みを活かして、ハード、ソフト、ロボット、PC、PLC、すべて自社にてワンストップで完結する点をアピールし、物流業界の市場調査と当社技術・製品の提案を行いました。

当社ブースには4日間で計400名を超えるお客様にご来場いただきました。今回、「仕分け」をテーマに展示をしたことで、食品業界や住宅業界など各業界の仕分けに関する困りごとをお聞きすることができ、当社の事業に関して多くのお客様に紹介することができました。

今後の製品開発や市場開拓の足掛かりとしていきたいと思えます。



1

国内制御装置関連事業

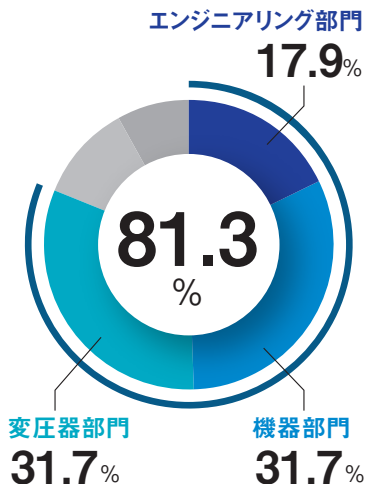
売上高 **2,812** 百万円

前年同四半期比 **5.1%** 減

国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開をしております。当事業は3部門から構成されており、その内、機器部門と変圧器部門が増加したものの、エンジニアリング部門が大きく減少したことにより、売上高は2,812百万円(前年同四半期比5.1%減)となりました。

(注)2020年10月1日付の会社組織の一部変更により、デバイスソリューション部門をエンジニアリング部門および機器部門へ統合しました。これに伴い、組織の変更が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、各部門の前年同四半期比を記載しております。

構成比



エンジニアリング部門

エンジニアリング部門の事業は、業種業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、搬送制御装置分野は物流関連の需要は堅調であるものの、原材料調達の高難溶性や参入企業の増加による価格競争の激化により売上高の減少幅が大きく、売上高は620百万円(前年同四半期比43.3%減)となりました。

機器部門

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、空間光伝送装置分野は研究開発案件の受注により増加し、売上高は1,095百万円(前年同四半期比20.3%増)となりました。

変圧器部門

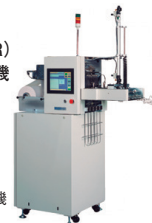
変圧器部門の事業は、当社が設立以来営んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業は、データセンター向けや再生可能エネルギー関連の設備投資の需要増により、売上高は1,095百万円(前年同四半期比14.5%増)となりました。

売上高 **620** 百万円 前年同四半期比 **43.3%** 減

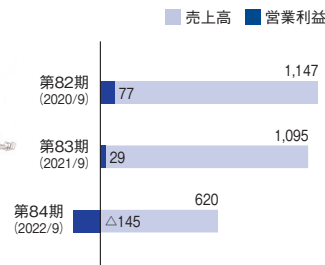
主要製品

- オンデマンドフォーム印刷機電装品
- インテリジェント多機能リレー(IPR)
- 宛名紙印刷搭載機

宛名紙印刷搭載機



売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



売上高 **1,095** 百万円 前年同四半期比 **20.3%** 増

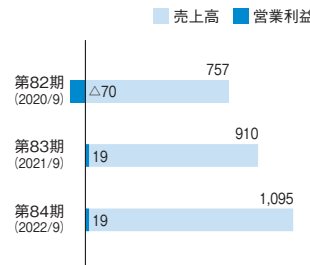
主要製品

- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器



空間光伝送装置

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



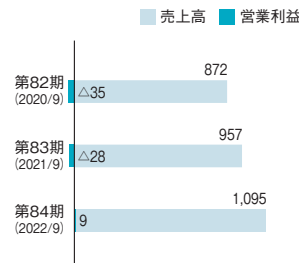
売上高 **1,095** 百万円 前年同四半期比 **14.5%** 増

主要製品

- 乾式変圧器
- モールド変圧器
- 耐雷変圧器
- 始動リアクトル

乾式変圧器
TKH4シリーズ

売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



2

海外制御装置関連事業

売上高 **371** 百万円

前年同四半期比 **32.5%**増

海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が事業を展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は、中国国内向けの盤関連製品の製造販売や中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。また、タイ王国にあるThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの組立・検査・販売を行っております。当事業は、設備投資の需要増により、売上高は、371百万円(前年同四半期比32.5%増)となりました。

主要製品

- 盤関連製品
(南京華洋電気有限公司のみ)
 - ・高圧受配電盤
 - ・コントロールセンタ
 - ・PLC応用制御盤



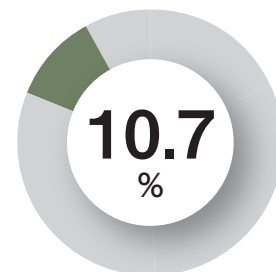
C型コントロールセンタ



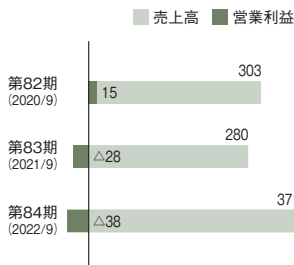
- エレベータ関連製品
(南京華洋電気有限公司と Thai Toyo Electric Co., Ltd.)
 - ・マルチビームセンサ
 - ・かご位置確認用センサ

エレベータセンサ
「かご位置確認用センサ」

構成比



売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



3

樹脂関連事業

売上高 **277** 百万円

前年同四半期比 **30.0%**減

樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂株式会社が展開している樹脂リサイクル事業です。当事業は、原材料不足の影響による自動車生産量の減少などにより、売上高は277百万円(前年同四半期比30.0%減)となりました。

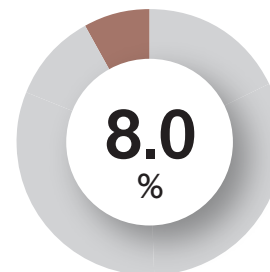
主要製品

- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産

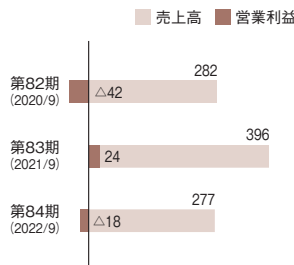


樹脂ペレット

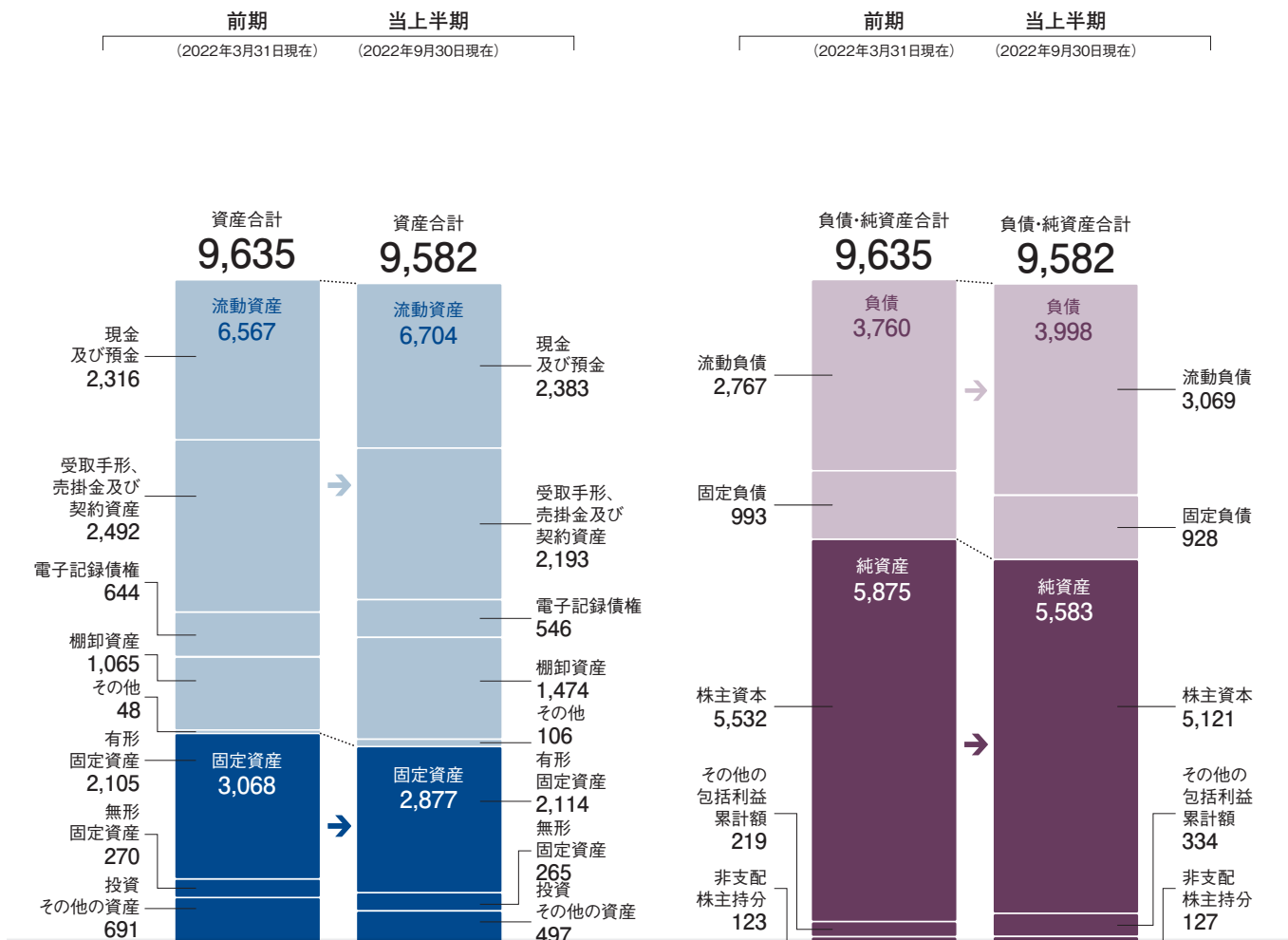
構成比



売上高・営業利益推移 (単位:百万円)



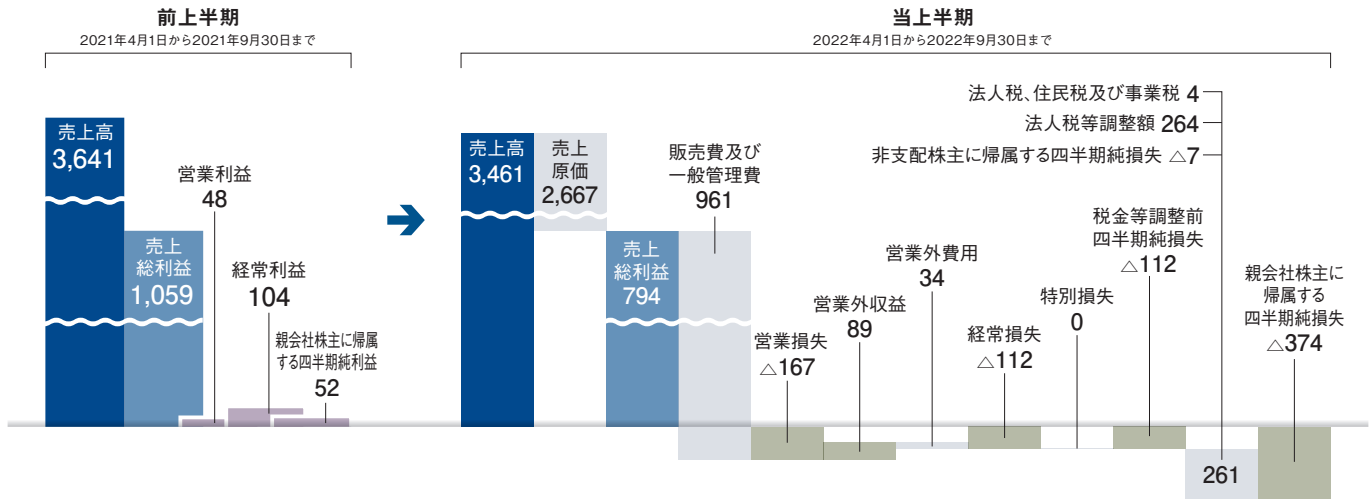
連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



POINT

総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産などが減少したことなどにより前期末比53百万円減少し、負債は、短期借入金の増加などにより、前期末比238百万円増加しました。なお、純資産は、利益剰余金の減少などにより、前期末比291百万円減少しました。

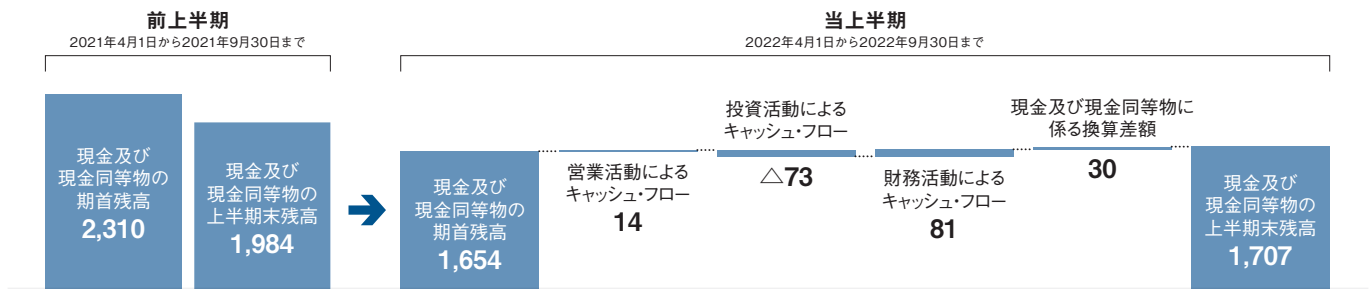
連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT

当上半期は、効率的な営業活動を進め、コア技術製品の競争力強化や次世代に繋がる技術・製品開発を推進し、部品調達難に対処するため、サプライチェーン最適化の取り組みを継続してまいりました。売上高は、機器部門と変圧器部門が増加したものの、エンジニアリング部門が大きく減少したことにより、3部門合計で減収となり、樹脂関連事業の売上高も自動車生産量の減少の影響から減収となりました。利益面では、原材料の価格高騰などの影響を受け、販売価格の適正化や原価率の抑制および間接経費の削減に努めたものの、売上高の減少分及び原価の悪化を補うことができず、営業損失となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の計上もあり374百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT

当上半期の現金及び現金同等物は、前期末に比べ53百万円増加し、1,707百万円となりました。営業活動の結果得られた資金は、売上債権の減少による収入や棚卸資産の増加による支出などにより14百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより73百万円となりました。財務活動の結果得られた資金は、短期借入金の純増および長期借入金の返済などにより81百万円となりました。

Beyond 5G

研究開発促進事業

屋外環境下での

光無線接続実証実験

について

屋外設置用光無線トランスシーバ

現在、R&Dセンターでは情報通信研究機構が公募した「Beyond 5G 研究開発促進事業」の委託研究採択を受け、国立開発法人三重大学を代表者とする5者で2021年8月より「基幹課題005: Beyond 5G 超大容量無線ネットワークのための電波・光融合無線通信システムの研究開発」のプロジェクトを進めています。

基幹課題には3つの研究開発項目があり、当社は「高速光無線接続技術及び光無線トランスシーバ技術」を担当しています。

かねてより研究を進めていました「FSO (Free-Space Optics: 自由空間光学) 技術」を更に推し進め、光無線トランスシーバ技術の研究開発・社会実装を踏まえたフィールド試験、国際標準化、知的財産権の取得が主な使命になります。

本委託研究では、光無線トランスシーバの伝送品質試験データを実運用に近い環境で集めるため、長期に渡り屋外環境下で光無線トランスシーバを繋ぎ、常に伝送品質データを収集すると共に天候などの周囲環境データを同時に収集することで、周囲環境と光無線トランスシーバの伝送品質を結び付けようと計画しています。

このデータを長期間蓄積することで、周囲環境が光無線トランスシーバの伝送品質に与える影響が予測できると考えています。現在、光無線トランスシーバや測定器を設置するための準備を進めており、まもなく実験を開始予定です。

光無線トランスシーバは、回線事業者様などにご採用いただける通信品質をクリアすることを最大の目標に掲げています。回線事業者様などに安心してご採用して頂けるためには、現状取り扱っている産業機器以上の非常に高く厳しい通信品質が必要になりますが、その高い目標に向かって研究者一同、光無線の研究開発に邁進しています。

会社の概況

商号	東洋電機株式会社
設立	1947年(昭和22年)7月
資本金	10億3,708万円
本社・春日井工場	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
神屋工場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
営業所	東京、名古屋、大阪
関係会社	東洋樹脂株式会社(愛知県小牧市)
	東洋電機ファシリティーサービス株式会社(愛知県春日井市)
	東洋板金製造株式会社(愛知県春日井市)
	南京華洋電気有限公司 (中華人民共和国江蘇省南京市)
	Thai Toyo Electric Co., Ltd. (タイ王国チョンブリー県)
主要取引銀行	商工中金、百五銀行、三井住友銀行、名古屋銀行
従業員数	個別:207名 連結:408名

役員

代表取締役 社長執行役員	松尾昇光
取締役 常務執行役員	井澤宏
取締役 常務執行役員	加賀美孝
取締役(監査等委員)	加藤茂男
取締役(監査等委員)	葛谷昌浩
取締役(監査等委員)	井上誠

(注)取締役 葛谷昌浩氏および井上誠氏は、社外取締役であります。

株式の概況

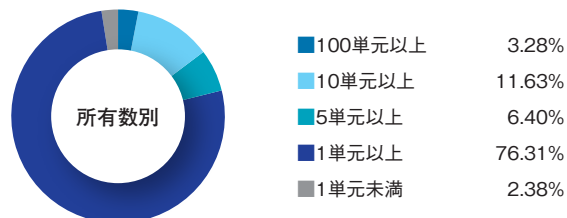
発行可能株式総数	9,000,000株(普通株式)
発行済株式の総数	4,694,475株(自己株式431,233株を含む)
株主数	1,891名

大株主

株主名	持株数	持株比率
有限会社城西	430千株	10.09%
東洋電機取引先持株会	352千株	8.26%
株式会社商工組合中央金庫	232千株	5.45%
東洋電機従業員持株会	204千株	4.80%
株式会社百五銀行	195千株	4.57%
松尾隆徳	173千株	4.06%
トーヨーテクノ株式会社	144千株	3.39%
松尾昇光	142千株	3.33%
日本生命保険相互会社	125千株	2.93%
第一生命保険株式会社	120千株	2.81%

(注)持株比率については、自己株式(431,233株)を控除して算出しております。

株主分布図



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 メイン市場(コード6655)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告のホームページアドレス	https://www.toyo-elec.co.jp/

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第84期
中間配当金に関する
お知らせ

第84期中間配当金は、2022年11月7日開催の取締役会で**1株につき10円**と決議いたしました。
なお、配当金の効力発生日ならびに支払開始日は、**2022年12月2日**となります。

(注)「第84期中間配当金支払いに関する取締役会決議ご通知」のご案内は、郵送による発送をやめ、当社Webサイトへの掲載に変更させていただいております。
何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

ホームページのご案内



製品情報



事業紹介



IR情報



最新の製品情報やIR情報などを分かりやすく掲載しています。

<https://www.toyo-elec.co.jp/>

東洋電機 検索



お問合せ先

東洋電機株式会社

〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096

この報告書は植物油インキを使用しております

